



# ゆたかっこ

学校だより 7月号一②  
豊見城市立ゆたか小学校  
豊見城市字豊見城 601 番地 1  
TEL850-6639 FAX850-3940  
校長 宮平 やすみ

## 「出会い・希望」の第1期！たくさんの成長がありました！

台風5号の動きが気になりましたが、無事に夏休み前の節目を迎えることができました。一年の4分の1を終えましたが、この間にも子ども達は様々な学習や体験を通して、毎日が成長の日々でした。子ども達の日々の成長を間近で見ることのできる教員の仕事は幸せな職業だと思いつつ、一日一歩を信条に子ども達と共に過ごしてきました。これも、ご家庭の温かい支えがあったからこそだと感謝しています。

今日の全校集会では、各学年の担任から学年の成長自慢「学年のNo.1」を決めてもらい、子ども達に伝えました。自分の学年だけでなく、他の学年の成長もみんなで賞賛しました。

夏休みは、子ども達が地域や家庭で自分の可能性を思い切り伸ばし発揮する期間です。今まで学校で過ごしていた時間(約8時間)をどのように過ごすのかを親子で話し合い、「夏休みに成長した実感」を、第2期「挑戦」につないでいけたらと思います。暑さが厳しい季節です。どうぞご家族共に健康で安全な夏をお過ごしください。

### わったあじまん ナンバー1 学年自慢の「No.1」



#### 1年生「ゆたかスタダートNo.1」

イスにしっかりとすわることからスタートした4月。できることがふえてきました。りつよう、おそうじ、きゅうしょく、にっちょくのおしごともしょうずにできるようになって、楽しくすごしています。

#### 4年生「やさしさNo.1」

こども園や保育所の小さい子ども達のために、楽しい遊びをいろいろと工夫して楽しませました。やさしい声かけと笑顔がいっぱいの4年生です。

#### 2年生「おそうじNo.1」

タイマーや時計を見て、時間内に終わるようにいっしょけんめいおそうじをがんばっています。

#### 5年生「朝活No.1」

お互いの声かけで朝の清掃が始まり、放送の合図で片付け、すぐに席に座って、朝の読書。落ち着いてスムーズに一日をスタートします。

#### 3年生「音読No.1」

「ゆうすげ村の小さな旅館」の学習では、たくさん読んだので、ある言葉を聞いただけで、続きをすらすらと暗唱できます！

#### 6年生「表現力No.1」

国語の授業や言の葉たいむで、言葉集めや短文作り楽しく取り組み、言葉にこだわって読んだり書いたりする力がつきました。これで、夏休みの意見文もばっちり！

### 夏休みは第2期へのアプローチ！

※夏休み明けに登校を渋る子どもが増える傾向が見られます。

- (子どもの心の声・・・きつといろいろある)
- ・宿題が終わらないから行きたくないな。
- ・ねむい。早く起きるのがつらいな。
- ・明日から学校。急にさびしい気持ちになる。
- ・好きなこと(ゲーム、自由時間等)ができなくなるのがいやだ。
- ・もっと、お母さんといっしょにいたい・・・

関わり方もそれぞれ違いますが、親子のふれあいと生活リズムのバランスを整え、第2期へ向かう準備もお願いします。

### 挑戦の夏！成長のチャンスです。

- ☆サマースクール 7/22(月),23(火) ゆたか小 4, 5年生対象です。少人数に分けて全職員で学習指導に当たります。(学年だより参照)
  - ☆夏休み子ども寺子屋 (市教育委員会主催) 各地域の公民館で実施。市内の学習支援員が学習の指導を行います。(詳細は広報等で)
  - ☆ものづくり大学 (市中央公民館主催) チラシ配布 様々な手作りや体験等の講座を計画しています。その他情報は、児童玄関靴箱近くの掲示板にもありますので、学校へ立ち寄る際にご覧ください。
- 耳より情報をゲットして、充実した夏を！**

# 今年の読書標語



6年 大城 希歩

5年 上原 優奈

4年 松田 拓臣

## 「読書記録」 読んだ感想を発信！

誰かに伝えることで、より理解と感動が深まります



「どんぐりむらのいちねんかん」  
1年 なかざとらん

「ムーブ いきもののふしぎ」  
1年 すがいゆきと

## 図書委員も本を紹介 本屋の店員の気持ちになって



この絵は、トリコの相ぼうのテリークロスです。トリコというのは美食四天王の1人にしてカリスマ美食家です。とても強くてとても食いしん坊です。でも、力がいっぱいあって強い体を持っています。トリコ、みなさんもぜひ読んでみてください。 4年 真栄平 愛琉

わたしがおすすめする本は「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」です。おすすめする理由は、物語の中でおかしが出てきますが、どれもふつうのおかしではなく、不思議なおかしなのです。でも、そのおかしは、だれかの夢をかなえるために売られていて、決まった人しかその駄菓子屋に行けず、その選んだ人がどのようになるのかを見るのが楽しいからおすすめします。 6年 市川 舞

人のむごい姿を見るのも、  
壕は悲しい。  
壕は見てきた。  
炎で焼かれる木や、草や、花たちを。  
焼けて消えてく自然を見るのも、  
壕は悲しい。  
壕は見てきた。  
青くて美しい海、水色できれいな空が、赤い海、黒い空へと変わるのを。  
そして今、壕は見られている。  
戦争でボロボロになった自分を。

壕が見てきたもの  
六年 上原 寛武  
泣いている子どもが殺される  
ところを。  
親が悲しければ、壕も悲しい。  
壕は見てきた。  
ぼくだんで人が自殺するところを。

神のバトン賞  
「佳作」  
入賞おめでとう

## 子育ての部屋「耳ぐすい（耳薬）」

このコーナーでは、様々な教育書の中から子育てのヒントになりそうな情報を一部分で紹介しています。私が勝手に選んだ情報ですので、参考にするかどうかは皆様の判断にお任せします。ちょっとしたヒント「耳ぐすい」になれればな〜と思います。

子どものいる方はぜひ本を読み聞かせてあげてください。少くとも難しい表現や、古い言い回しなどがあってもかまいません。ポイントは情感を込めて読んであげることです。子どもはまだ言葉を聞いてもイメージすることに慣れていませんが、抑揚や感情ののり方を頼りに、頭の中で映像化できるようになるのです。

アニメは素晴らしい文化ではありますが、イメージ力を鍛えるのにはあまり向いていません。アニメを見ながら別の映像を思い浮かべるのは難しいですし、そういうことは普通なかなかないでしょう。宮崎駿さんは、インタビューの中で、「子どもが気に入って『となりのトトロ』を何十回も見ています」というお母さんに向けて「そんなことをしてはダメです」ということをおっしゃっていました。名作だからといって、子どもに繰り返し見せるものではないのです。「ただ、基本的には、ビデオのスイッチをつけるということと絵本を開いて見るということは本質的に違う行為だと思います。映像は、見ている見えていないに係わらず一定のスピードで送りだされる一方的な刺激ですが、絵本は違います。今のように子ども達が、映像に頼れば頼るだけ、これからは現実の生活の中で、絵本を楽しむような時間が必要になるんじゃないですか」（『折り返し地点』宮崎駿著より） ~中略~

宮崎さん自身はたくさん本を読み、とても深い認識力を持っていらっしゃると思います。だからあんなに面白い作品をつくらることができるのです。ですから、アニメは好きで見れば本は読まないというのでは、宮崎アニメの本当の深さに気づけないかもしれません。・・・

「読書する人だけがたどり着ける場所」(齋藤 孝) SB新書